

「新規アレルギー項目」受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 この度、下記の検査項目につきまして、新規受託開始させていただくことになりましたので、
 ご案内申し上げます。
 宜しくご高承賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

2010年9月

新規受託開始項目

特異的IgE(アレルギー検索検査)

オメガ-ファイブ

ω - 5 グリアジン 〈小麦由来コンポーネント〉

カシューナッツ 〈木の实〉

マラセチア (属) 〈真菌〉

受託開始日:2010年10月4日(月)受付分より

※ご依頼の際は、依頼書の「追加検査」、又は「追加項目」の欄に

ω-5 グリアジン、カシューナッツ又はマラセチアとご記入下さい。

◇受託要領

	ω-5 グリアジン	カシューナッツ	マラセチア
項目コード	5365	5366	5367
検体必要量	血清 0.3ml	血清 0.3ml	血清 0.3ml
検査方法	FEIA		
基準範囲	クラス:0(-)、UA/ml:0.35 未満		
所要日数	3~5日		
実施料	110点*		

*:特異抗原の種類毎に算定する。ただし、患者から1回に採血した血液を用いて検査を行った場合は、1430点を限度として算定できる。

お問い合わせは最寄りの営業所 または、
 本社・研究所にお願いいたします。


SMS 株式会社 **昭和メディカルサイエンス**
 本社・研究所：東京都町田市鶴間541番地2
 TEL 042 (795) 6000

新規アレルゲン項目

◆ ω-5 グリアジン

リコンビナント（遺伝子組み換え）により製造された小麦のコンポーネントの1つです。食物依存型運動誘発性アナフィラキシー（FDEIA）は、食物摂取後の運動によって惹起されるアナフィラキシーであり、特異的 I g E が関与する食物アレルギーの特殊な形態とされており、本邦では小麦が最も頻繁に FDEIA を起こす原因食物として報告されています。小麦による FDEIA を引き起こす患者に、ω-5 グリアジン特異的 I g E が高感度・高特異度で認められたことから、ω-5 グリアジン特異的 I g E 測定が、FDEIA の診断に有用である、と報告されています。

既存の特異的 IgE 小麦(食)に加え、ω-5 グリアジンを使用することで小麦アレルギーの診断精度の向上が期待されます。

◆ カシューナッツ

ナッツとして食用にする他、中華料理、パン、お菓子（ケーキ、クッキー、チョコレート等）、サラダのトッピング等に使用されています。

カシューナッツによるアレルギー症状は、舌のしびれ、喉の違和感、嘔吐等の口腔アレルギー症候群のみならず、アナフィラキシーショック等の重篤の反応を示すことが知られています。

欧米では強いアナフィラキシーを引き起こす原因アレルギーとして知られており、アメリカではアナフィラキシーによる死亡者の約 80% がピーナッツ、又はナッツ類を原因アレルゲンとしています。日本では、以前からソバアレルギーが有名でしたが、最近 10 年ほどではピーナッツやナッツ類アレルギーが急激に増加しています。

既存のナッツ類アレルゲン項目（クルミ、ハシバミ（ヘーゼルナッツ）、アーモンド等）とともに、より幅広くナッツ類によるアレルギー患者の原因検索が可能になります。

◆ マラセチア（属）

マラセチア属は、従来品である特異的 IgE ピティロスポリウムに使用している 1 菌種（現 *Malassezia sympodialis*）に、*M.restricta* および *M.globosa* のエキスを混合したものを抗原として固相化したものです。

ヒトおよび動物の皮膚常在菌（成人の 80% が保有）です。また各菌種はアトピー性皮膚炎の増悪因子とされ、患者から高率に検出されるとの報告があります。